

令和8年4月22日
 経 済 産 業 部
 経 済 課
 工業・建設業・雇用促進課

産業活性化拠点「HOME/WORK VILLAGE」における令和8年度事業計画について

1 主旨

令和8年2月3日の区民生活常任委員会に報告した産業活性化拠点「HOME/WORK VILLAGE」の令和8年度事業計画案（以下「計画案」という。）について、この間の区議会からの意見及び令和8年3月26日に開催した「世田谷区産業活性化拠点事業評価委員会」（以下「評価委員会」という。）での意見等を踏まえて修正し、本事業の運営委員会において令和8年度事業計画として決定したため報告する。

2 計画案に対する評価委員会での主な意見の内容及び対応

意見の内容	意見に対する対応
量だけでなく、数字で計ることができない質の部分も重要。	本事業の実績報告書に定性的な内容についても記載し、質の面からも取組みの成果や効果が見えるよう工夫する。
令和8年度以降の目標値について、令和7年度の事業実績を踏まえた算出根拠の説明が必要。	計画案の内容を見直し、最新の事業実績を踏まえた目標を設定した。
既存産業の活性化や起業・創業を重視する場合、それに資する施策を増やすべき。	令和8年度事業計画では、施策の数を増やすのではなく、各施策の取組み内容を充実させ優良事例の創出を図る。
中高生や中高年など比較的アプローチできていない層との接点を作り、起業・創業や地域課題解決につなげるしかけが必要。	情報発信の充実や、様々なイベントの実施等を通じて事業者間の交流促進や起業・創業プログラムへの参加につなげる等の取組みを検討していく。
商工会議所や商店街を含めた既存の事業者、金融機関、大学等との連携を促進させることが必要。	各機関との連携による事業者支援体制の構築に向けて検討を進めていく。
現時点では産業活性化拠点を中心としたエリアに留まっている影響を、全区的に波及させていくための検討が必要。	本事業の取組み内容や成果の効果的な発信や、HOME/WORK VILLAGE 外でのプログラム実施など、様々なツールや場所において産業活性化の取組みを実施していく。
まちにどのように開かれているのかという視点が重要。施設で行われている取組みが事業領域やターゲットに制限されることなく、横断的なものになると良い。	入居事業者と施設利用者の交流・協業や社会実証フィールドとしての活用など、様々なステークホルダーが参加し、地域経済を活性化する取組みを充実させていく。

3 令和8年度事業計画

(1) 事業計画の考え方

令和8年度事業計画は、令和7年12月までの本事業の実績値を踏まえ、令和7年度事業計画のKPI等の数値及び文言を見直す形で計画案として取りまとめ、令和8年2月3日の区民生活常任委員会に報告し、その後の区議会及び評価委員会からの意見と令和8年2月までの事業実績値を基に修正したものである。

なお、令和7年度事業計画は、計画期間を1年間としつつ、KPIをはじめとする各取組みの目標値を事業の立ち上げ期を含む、令和7年度から10年度の4年間として設定したものである。

(2) 令和8年度事業計画

別紙のとおり

※赤字部分：施設開設から令和7年12月までの事業実績値を基に、令和7年度事業計画を修正・追記した箇所。

※緑字部分：令和8年2月3日に報告した計画案に対する区議会からの意見を踏まえ、計画を修正・追記した箇所。

※青字部分：令和8年2月までの事業実績値及び評価委員会からの意見を踏まえ、計画案のKPI等の数値を修正した箇所。

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年5月 運営委員会開催（令和7年度事業報告 承認）

6月 評価委員会開催（令和7年度事業報告 評価）

7月 区民生活常任委員会報告（令和7年度事業報告）

～参考～ 評価委員会の内容

〈設置目的〉

産業活性化拠点「HOME/WORK VILLAGE」が行う事業の内容について、評価・検証する。

〈所掌事項〉

産業活性化拠点「HOME/WORK VILLAGE」が行う事業について、「世田谷区産業活性化拠点運営事業（旧池尻中学校跡地施設活用事業）の実施に関する基本協定」で定める事業目的、事業内容、事業計画及び事業報告を踏まえて、公平・公正に評価・検証を行う。

〈評価委員会委員（令和8年3月31日時点）〉

氏名	肩書
長山 宗広	駒澤大学経済学部教授
飯石 藍	公共R不動産 メディア事業部マネージャー
加勢 雅善	NPO法人ETIC. ソーシャルイノベーション事業部 兼 事業本部 シニア・コーディネーター
平岩 国泰	特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール 代表理事
島田 成年	東京商工会議所 世田谷支部 副会長
上田 暁	池尻東親会 会長
有馬 秀人	世田谷区 政策経営部長

世田谷区産業活性化拠点
(HOME/WORK VILLAGE)

令和8年度事業計画書

目次

1	事業計画方針（ビジョン）P1
2	事業者コンソーシアムの役割P3
3	組織体・組織図P4
4	本施設の具体的機能P5
5	成果指標【KPI】についてP7
6	コンセプト実現のための取組みP9
7	収支計画P20
8	他事業との連携P21

1 事業計画方針(ビジョン)

【事業目的】

旧池尻中学校跡地を活用した産業活性化拠点(HOME/WORK VILLAGE)は、区内の既存産業に対する伴走型の支援による再活性化を図るとともに、DX や SDGs など社会経済環境の変化を前提として、新しい価値を創出し得る事業者や人材を育成・確保し、区内産業のイノベーションを創出・加速することで、地域経済の持続的な発展を目指す拠点として機能させることを目的としている。

【本施設の基本コンセプト及び取組方針】

・基本コンセプト

- ①多様な企業・人材が新たな価値を創造する場
- ②未来を担う子どもへの新たな学びを実践する場
- ③職住近接のため多様な働き方の支援拠点
- ④地域特性を活かした賑わいをつなぐ場

・取組方針

上記の4つの基本コンセプトを施設運営及び事業実施の基本的な方針として、それぞれが連携、交流、協働しながら、以下の機能に基づく具体的な事業を進め、区内の既存産業の再活性化や新しい価値を創出する人材の育成など、区内産業のイノベーションを創出・加速し、地域経済の持続的な発展を目指していく。

主な機能	主な事業
① 既存産業の活性化支援	◆2階:コワーキングスペース、セミナールーム ・ハンズオン(伴走型)支援 ・第二創業支援
	◆3階:スモールオフィス ・事業スペースの提供
② 起業・創業支援	◆1階:チャレンジショップ ・創業、スタートアップ支援
	◆2階:コワーキングスペース、セミナールーム ・ワークスペース、事業スペースの提供 ・創業、スタートアップ支援 ・アクセラレータープログラムの実施 ・区内定着支援
③ 産業と連携した学びの支援	◆2階:コワーキングスペース、スクール、 セミナールーム
	・若い世代の学びの場 ・区民や事業者のリスキリング支援

④ 区民・事業者に開かれた場	◆1階:飲食・物販区画
	・飲食、物販事業者の入居 ・ブックラウンジ(1階・2階)
	◆体育館棟
	・従来の利用及び新たな活用 ・多様なコミュニティの形成
	◆広場(校庭)
	・新たなプロダクト等のテストマーケティング ・新たなテクノロジー等の社会実証フィールド ・多様なコミュニティの形成

2 事業者コンソーシアムの役割

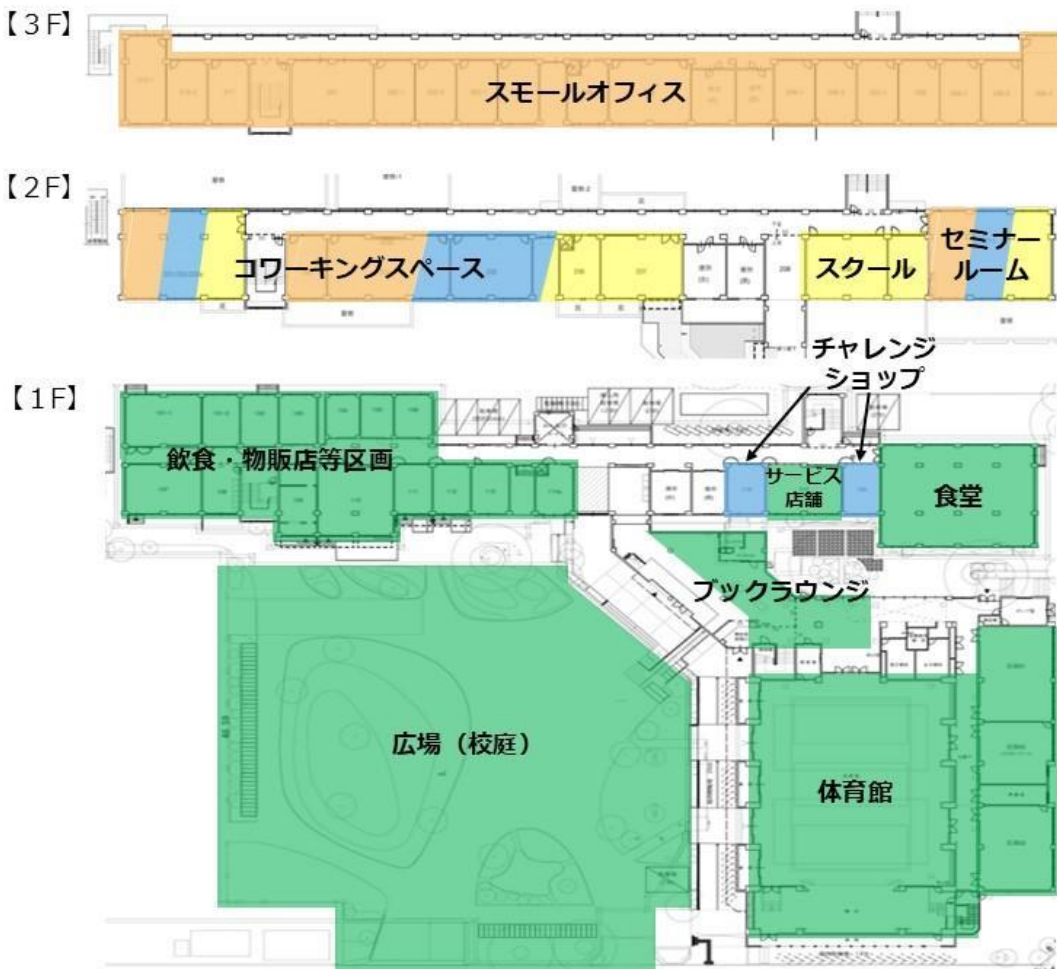
事業コンソーシアムに参画する各社は、プロポーザルから開業までの間に、建物やインフラの改修を行い、入居テナントへの不動産賃貸事業を主とする小田急電鉄(株)、施設運営や管理等実務の全権を担う新設法人の方方(株)、創業支援に特化するfree(株)、常設の学びの場の提供に特化するまちの研究所(株)とに整理された。方方(株)はコンソーシアム中のオールドファッション(株)、(株)散歩社、MIRAI-INSTITUTE(株)との共同出資によって立ち上がった新設法人で、各社が得意とする領域を管掌しつつ、代表はオールドファッションの代表取締役が務める。

入居テナントとのコミュニケーションや管理、セミナールーム等校舎側の共用、レンタルスペースの運営については方方が担い、同時に、ブックラウンジや体育館管理にも関わる。

コワーキングスペースの運営や、創業支援、アクセラレータープログラムは MIRAI-INSTITUTE が担いながら、方方、free と連携する。

施設の賑わい創出や企業連携については、方方が利用促進、イベント企画運営等全般を担う。

<施設平面図>



<主な機能>

【既存産業の活性化支援】

事業者等の活動の場の提供や更なる事業展開に対する支援など、事業者等の安定的な活動と成長を促すとともに、他の事業者等との交流や連携を図る取組みを実施する。

- ハンズオン（伴走型）支援
- 第二創業の支援スペースの提供
- スモールオフィスの整備
- インキュベーションマネージャーの配置

【起業・創業の支援】

ワークスペースを提供し、インキュベーションマネージャーのサポートによる他の事業者等との交流・連携の促進など、創業予定者やスタートアップ等の安定的な事業展開や成長に向けた支援を行う。

- ワークスペース、事業スペースの提供
- 創業、スタートアップ支援
- アクセラレータープログラムの実施
- 区内定着支援

【産業と連携した学びの支援】

若い世代の学びの場として、常設の学びの場及びスクール事業を実施する。また、事業者等のスキルアップや学び直しにつながる取組みを実施する。

- 常設の学びの場の整備
- スクール事業の実施
- 区民や事業者のリスキング支援

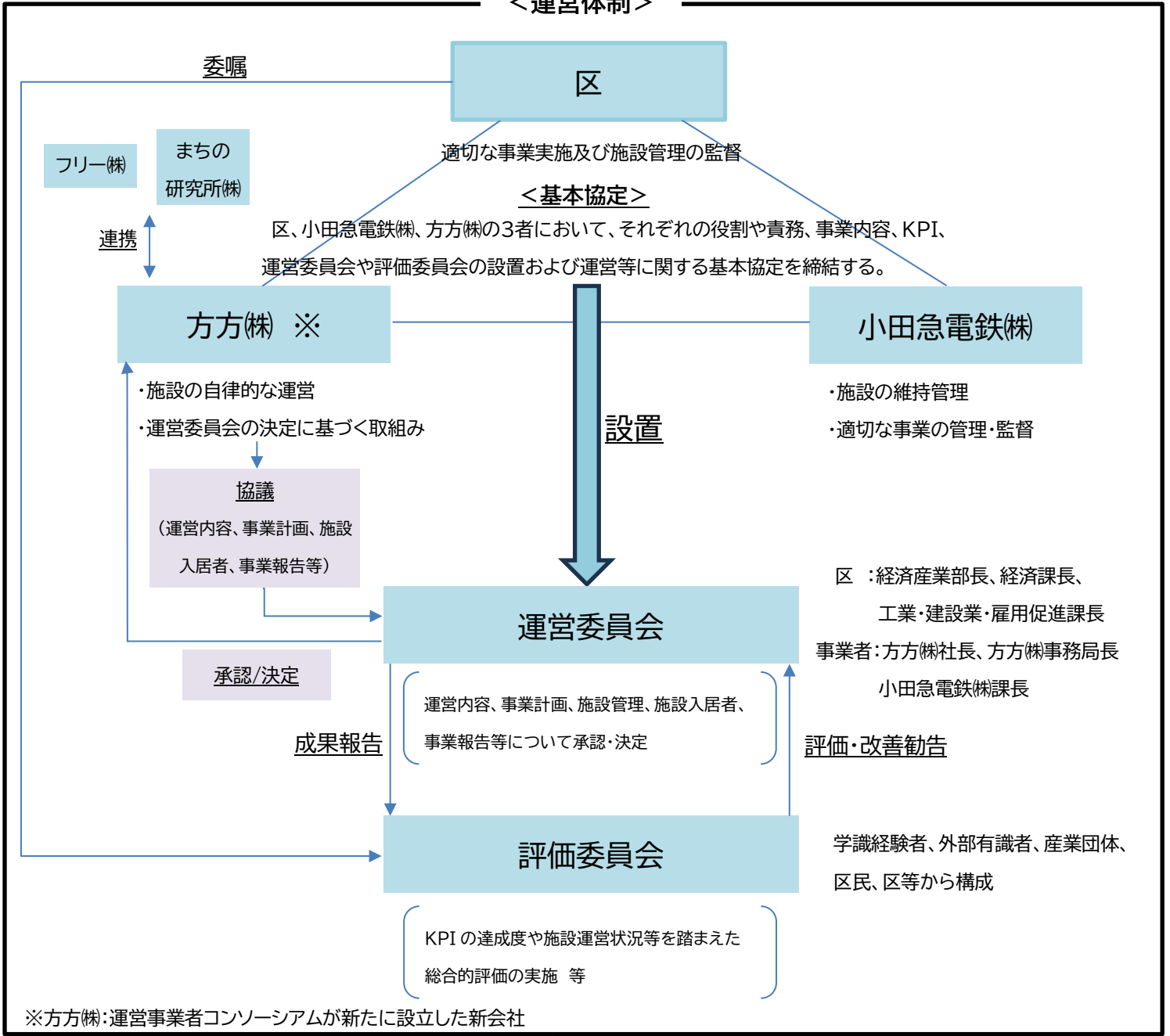
【区民・事業者に関かれた場】

近隣地域と入居者の交流・協業など地域コミュニティの場としての機能に加え、入居者や事業者が開発した新たなテクノロジーなどの社会実証フィールドを提供する。

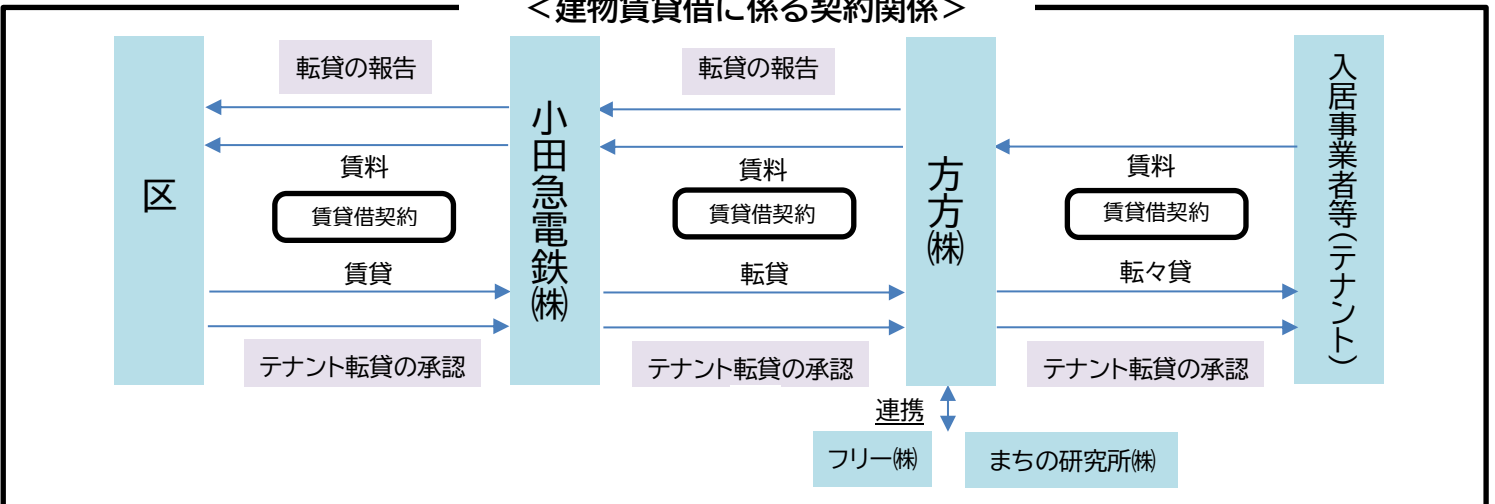
- 飲食、物販事業者の入居
- ブックラウンジの運営
- 体育館棟の運営
- 広場（校庭）の整備

3 組織体・組織図

<運営体制>



<建物賃貸借に係る契約関係>



4 本施設の具体的機能

本施設では、地域経済の持続的な発展を目指す拠点として機能させるため、事業者支援の主な役割として「既存産業の活性化支援」及び「起業・創業支援」の各機能を重視し、運営事業者が持つノウハウやネットワーク、地域資源、区内の企業や金融機関といったステークホルダーとの連携等により、様々な事業ステージにある事業者の成長支援を実施していく。

また、本施設の多様なスペースを有機的に活用し、世田谷の産業の特性である生活関連産業の活性化や、ソーシャルビジネスの発展、さらには子どもや若者など未来の起業家を育成するため、教育や環境、スポーツ分野の取り組みや大学等とも連携しながら後述する様々な事業を展開していくことで、地域・社会課題の解決にも取り組んでいく。

なお、本施設では入居者や来場者、そして地域住民など、施設を訪れる全ての利用者により連携・交流・協働を生み出すことで地域経済の活性化を図り、その他の取り組みとともに、その効果を全区に波及させる役割も担っている。

【各スペースの活用(役割)】

・飲食・物販区画、スモールオフィス

施設には合わせて30区画程度の様々な飲食・物販区画と、スモールオフィス区画が展開される。定期的に入居者同士の打ち合わせのほか、交流会を開催するとともに、店長会の運用や Slack 等の活用により、コミュニケーションを数多く生み出し、入居テナント同士の共通点を見出すことで、大小さまざまな協業の可能性を高めていく。また、施設内イベントスペースの利用も積極的に促していく。

さらに、飲食区画にはビール醸造のできるテナントを誘致する。当該テナントの商品をつくるだけでなく、OEM 製造拠点として、周辺住民や事業者のオリジナルビール製造も担うことで、メイドイン世田谷のプロダクトづくりにも挑戦していく。

・コワーキングスペース

個人から法人まで、会員制で多様な働き方の受け皿を担うスペースとなる。外国人の対応も可能なインキュベーションマネージャーが常駐し、利用者に対してさまざまなサポートや、専門家等の紹介を行う。また、アクセラレータープログラムや各種セミナー、ハンズオン支援の会場としても活用する。

・常設の学びの場

小学生を中心にスクール事業の展開や、常時自由に利用できる学びのスペースを提供することで、幼児から小学生まで、幅広い子ども、親子に学びの場を開放する。

・ポップアップスペース、シェアキッチン、セミナールーム、配信スタジオ

新しいチャレンジを始めたい方に、物販、飲食、展示、イベント、情報発信など、さまざまな形態でのサービス提供、テストマーケティングが可能な場を提供するとともに、SNS 等で利用者のコミュニティをつくり、協業も促していく。また、商店会等の連携により、活動が施設外に広がる可能性も高めていく。

・校庭(広場)

施設の賑わいを創出するとともに、キッチンカーやマルシェ出店により、事業者の出店機会を提供する。また、世田谷パン祭りをはじめとする広場活用の新しい切り口の提案や、事業者の集積も図っていく。

・体育館、ランニングステーション、貸しスタジオ

スポーツやエクササイズ、格闘技、文化活動での活動拠点として提供する。SNS 等で利用者コミュニティを構築し、関連スクールやスポーツイベントを開催することで、活動団体を越えたつながりを醸成していく。

・ブックラウンジ(コーヒースタンド)

来館者に本のある憩いの空間を提供するだけでなく、ワークショップ会場や展示のスペースとするなど、さまざまなテーマでイベントを開催する。

・屋上

サーキュラーエコノミー的な視点を持った活動として、屋上菜園の運営や太陽光発電を実施する。コンポストや雨水利用、太陽光発電を通じた再生エネルギーの売電といった、環境配慮に近い意識を持った個人・法人のネットワークの構築にも寄与していく。

【情報発信】

本施設で実施する各種プログラムやセミナー等の事業内容については、プログラムへの参加を促進するため、その成果も含めデジタルメディア(SNS 等)やイベントを通じた発信等の多様なツールを効果的に組み合わせて広く周知し、継続的かつ戦略的な情報発信を行う。これにより、区民や事業者をはじめとするステークホルダーの本施設への理解促進、参加や交流・連携機会の拡大を図り、施設が担う産業活性化機能の発揮につなげていく。

5 成果指標【KPI】について

世田谷区産業活性化拠点運営事業の実施に関する基本協定に基づき、開設から4年目までの成果指標を下記のとおり設定する。なお、施設開設から3年目までは事業の立ち上げ期にあたるため、基本協定で定める評価委員会での評価は4年目の数値からとなる。また、成果指標の設定及びその評価は本施設の主な機能の4区分で行うが、「既存産業の活性化支援」及び「起業創業支援」は事業者支援の重要な要素であることから、本2機能の目標及び成果は、評価にあたり重視される指標となる。なお、KPI の各項目に関連する事業は、後述の「コンセプト実現のための取組み」のとおり。

①既存産業の活性化支援

項目		達成目標				目標達成による成果
		1年目	2年目	3年目	4年目	
1-1	ハンズオン支援 ／支援社数	15	18	20	25	<p>伴走型支援の定着や新規事業の立ち上げ、新たなチャレンジ等により、様々な既存産業の再活性化が図られ、区内産業の安定した経営や雇用が実現できる。</p> <p>ハンズオン支援やアクセラレータープログラムの実施に関しては、金融機関や出資企業等と連携したピッチイベント等の実施も組み合わせることにより、立ち上げ期から成長期に至るまで様々な事業ステージの事業者の支援が実現できる。</p>
1-2	アクセラレータープログラム支援／支援社数	60	70	70	80	
1-3	ビジネスマッチング ／件数	5	(5) 7 10	(8) 10	10	

②起業創業支援

項目		達成目標				目標達成による成果
		1年目	2年目	3年目	4年目	
2-1 (再掲)	アクセラレータープログラム支援／支援社数	60	70	70	80	<p>年間を通じて多様かつきめ細やかなアクセラレータープログラムを豊富にラインナップすることで、業態を問わず様々なチャレンジを模索する起業希望者が集客される。</p> <p>また、施設を利用する多様な事業者等が、インキュベーションマネージャーの仲介によりビジネスマッチングされることで、さらなる区内起業創出の可能性を拡大させる。</p> <p>アクセラレータープログラムの実施に関しては、金融機関や出資企業等と連携したピッチイベント等の実施も組み合わせることにより、立ち上げ期から成長期に至るまで様々な事業ステージの事業者の支援が実現できる。</p>
2-2	区内起業・創業者数 ／件数	3	7	10	15	
2-3 (再掲)	ビジネスマッチング ／件数	5	(5) 7 10	(8) 10	10	
2-4	地域や社会課題への 影響に関する目標達成 割合／%	60	60	60	70	

③産業と連携した学びの場

項目		達成目標				目標達成による成果
		1年目	2年目	3年目	4年目	
3-1	常設の学びの場の運営 ／年間開放日数	230	250	(250) <u>275</u>	(250) <u>300</u>	年間を通してハード・ソフト共に充実したコンテンツを有する常設の学びの場を提供し、多くの子ども達が気軽に利用でき、様々な体験をすることで、学ぶことや働くことへの興味や選択肢を広げるとともに、未来の人材の育成にもつなげる。また、魅力ある講師によるスクールプログラムやイベントを安定的に実施することで、子どもの起業家精神を醸成し、将来的な区内起業に繋げる。
3-2	アントレプレナー教育の プログラム数／本数	12	(12) <u>20</u> <u>30</u>	(18) <u>25</u> <u>30</u>	(18) <u>30</u>	
3-3	SDGsやソーシャルアク ションにつながるプログ ラム数／本数	12	(12) <u>20</u> <u>30</u>	(18) <u>25</u> <u>30</u>	(18) <u>30</u>	
3-4	子どもの年間受入人数 ／延べ人数	2,500	(5,000) <u>7,500</u> <u>9,000</u>	(5,000) <u>8,000</u> <u>9,000</u>	(5,000) <u>8,000</u> <u>9,000</u>	

④区民に開かれた場

項目		達成目標				目標達成による成果
		1年目	2年目	3年目	4年目	
4-1	来場者数 ／延べ人数	300,000	500,000	550,000	550,000	多数の魅力的なテナントを展開することで、飲食やショッピングなど、産業に関する目的に限らず誰もが気軽に利用できる施設にするとともに、年間を通じてパン祭りやスポーツイベントなどを複合的に開催することにより、多数の来場者を安定的に獲得する。より多くの方に利用してもらうことで、入居事業者の取組みや多様な働き方を知ってもらうとともに、新たな気づきや学び直しのきっかけづくり、交流を通じた新たなつながりの創出等により、豊かな区民生活の実現を図っていく。
4-2	地域・事業者の イベント開催数 ／本数	40	(60) <u>750</u> <u>1,100</u>	(80) <u>800</u> <u>1,100</u>	(80) <u>800</u> <u>1,100</u>	

6 コンセプト実現のための取組み

①既存産業の活性化支援

事業者等の活動の場の提供や更なる事業展開に対する支援など、事業者等の安定的な活動と成長を促すとともに、他の事業者等との交流や連携を図る取組みを実施する。また、必要に応じて金融機関や出資企業等の参画によるピッチイベントなども併せて実施していく。

事業名	世田谷区地域連携型ハンズオン支援事業【KPI 1-1】				
事業内容	世田谷区地域連携型ハンズオン支援事業を通じて事業者の成長を支援する。				
行動指標 (目標値)	ハンズオン支援数(件)	R7	R8	R9	R10
		15	18	20	25
令和8年度 実施事業	世田谷に拠点を置く事業者の挑戦を補助金(最大180万円)+専門家+ネットワークでサポートし、事業の成長を支援するプログラム。令和8年は最大18事業者を支援予定。				

事業名	アクセラレータープログラムの実施【KPI 1-2】【KPI 2-1】				
事業内容	専門家によるアクセラレータープログラムを実施することで、事業者の起業や事業活動の加速(促進)を支援する。				
行動指標 (目標値)	プログラム支援社数(社)	R7	R8	R9	R10
		60	70	70	80
令和8年度 実施事業	新規開業するに際して必要となるスキルを身につける講座や、既に経営を担う方を対象とした理想的なお店を経営するための具体的なノウハウを学ぶことができる講座など、専門家によるアクセラレータープログラムを実施することで、事業者の起業や事業活動の加速(促進)を支援する。また、必要に応じ金融機関による融資や出資などに明るい外部企業との連携も視野に入れ、プログラムの充実を図っていく。				

事業名	コワーキングスペースでのビジネスマッチング支援【KPI 1-3】 【KPI 2-3】				
事業内容	コワーキングスペースにインキュベーションマネージャーを配置し、利用者のメンタリングを実施するとともに、他事業者とのビジネスマッチング等を促す。				
行動指標 (目標値)	マッチング件数(件)	R7	R8	R9	R10
		5	(5) 10	(8) 10	10
令和8年度 実施事業	インキュベーションマネージャーが利用者のメンタリングを実施することや、コワーキングスペースを会場とした交流会や商談会を実施することで、事業者のビジネスマッチングを促していく。				

事業名	インキュベーションマネージャーの配置				
事業内容	コワーキングスペースに配置するインキュベーションマネージャーによる支援。				
行動指標 (目標値)	対応件数(件)	R7	R8	R9	R10
		50	60	70	80
令和8年度 実施事業	コワーキングスペースに1~2名程度のインキュベーションマネージャーを配置し、日常的な事業推進支援を行うとともに、他事業者とのビジネスマッチング等を促す。				

事業名	コワーキングスペース利用促進【新規】				
事業内容	コワーキングスペースの利用を促進することで、新たな交流や価値を創出し、産業の活性化に繋げる。				
行動指標 (目標値)	1日あたり利用者数(人) /日	R7	R8	R9	R10
		—	60	70	75
令和8年度 実施事業	コワーキングスペースの新規利用者を獲得するために、SNSによるPRやTRIAL DAY(体験利用)、イベント等を通じて利用を促す。				

事業名	第二創業支援				
事業内容	入居者や施設利用者に対する日常的な支援、セミナー開催、区とのハンズオン支援を通じて、変化を促し、サポートをする。				
行動指標 (目標値)	(スクール開催数(回))	R7	R8	R9	R10
	<u>サポート件数(件)</u>	30	(40) <u>15</u>	(50) <u>18</u>	(50) <u>20</u>
令和8年度 実施事業	既存事業とは異なる新事業・新分野への進出を検討する事業者に対して、日常的な支援やセミナーの開催、ハンズオン支援をすることで、経営の刷新を図るサポートを行う。また、区の事業承継プラットフォームとも連携を図る。				

事業名	区民・事業者の区内定着支援				
事業内容	施設入居者に区内オフィス・店舗を紹介し、施設退去後の事業運営を支援する。				
行動指標 (目標値)	紹介可能物件数(件)	R7	R8	R9	R10
		1	3	5	5
令和8年度 実施事業	住宅を店舗にリノベーションする事業を生業とするスモールオフィス入居者や区内不動産事業者と連携して、施設入居者に区内オフィス・店舗を紹介し、施設退去後の事業運営を支援する。				

事業名	事業者PRの支援				
事業内容	施設内にポッドキャストの収録機材を設置するとともに編集のサポートを実施し、事業者のPRを支援する。また、事業者の交流の場を生み出し、各事業者の取組み等をPRする時間を設ける				
行動指標 (目標値)	利用者数(人)	R7	R8	R9	R10
		10	50	100	100
令和8年度 実施事業	外部の広報やポッドキャスト運営事業者と連携し、PR施策や編集のノウハウにより事業者を支援していく。また、交流会やイベントの場などを活用し、参加者の事業内容をPRする場を設けることで、事業者の事業展開につなげる支援を行う。				

事業名	外部とのネットワーク作り				
事業内容	資金提供者や各界の専門家によるイベントを開催し、区内事業者のビジネス機会を創出する。				
行動指標 (目標値)	外部講師によるイベント 開催数(回)	R7 5	R8 10	R9 10	R10 10
令和8年度 実施事業	運営事業者が提携するベンチャーキャピタル等の資金提供者や各界の専門家によるイベントを開催し、区内事業者のビジネス機会及び 成長機会 を創出する。				

事業名	コワーキングスペースでの交流促進				
事業内容	コワーキングスペースの共用部でイベントを実施することで、施設利用者同士の交流を促進する。				
行動指標 (目標値)	イベント参加者数(人)	R7 10	R8 (20) <u>300</u> <u>900</u>	R9 (30) <u>400</u> <u>900</u>	R10 (40) <u>500</u> <u>900</u>
令和8年度 実施事業	コワーキングスペースの共用部で昼食会等のイベントを実施することで、経営の悩み事による事業者の孤立を防ぎ、施設利用者同士の交流を促進することで、 新たな連携や協業等を生み出す。				

事業名	セミナールームの活用				
事業内容	入居者や区内事業者にスペースをレンタルすることで、利用者の事業活動を支援する。				
行動指標 (目標値)	利用件数(件)	R7 8	R8 (12) <u>30</u> <u>72</u>	R9 (15) <u>35</u> <u>72</u>	R10 (18) <u>40</u> <u>72</u>
令和8年度 実施事業	約130㎡のスペースを入居者や外部の区内事業者にセミナーや交流会等の会場としてレンタルすることで、利用者の事業活動を支援する。				

事業名	教室の活用				
事業内容	入居者や区内事業者にスペースをレンタルすることで、利用者の事業活動を支援する。				
行動指標 (目標値)	利用件数(件)	R7 10	R8 (20) <u>80</u> <u>150</u>	R9 (30) <u>90</u> <u>150</u>	R10 (30) <u>100</u> <u>150</u>
令和8年度 実施事業	約63㎡のスペースは学校当時の雰囲気を残した設えとなっているため、打合せや交流のスペースのみならず、ロケ地としての利用も促進していき、施設のPRにも活用する。				

②起業・創業支援

ワークスペースを提供し、インキュベーションマネージャーのサポートによる他の事業者等との交流・連携の促進など、創業予定者やスタートアップ等の安定的な事業展開や成長に向けた支援を行う。また、必要に応じて金融機関や出資企業等の参画によるピッチイベントなども併せて実施していく。

事業名	アクセラレータープログラムの実施【KPI 2-1】 【KPI 1-2】 <再掲>				
事業内容	専門家によるアクセラレータープログラムを実施することで、事業者の起業や事業活動の加速(促進)を支援する。				
行動指標 (目標値)	プログラム支援社数(社)	R7 60	R8 70	R9 70	R10 80
令和8年度 実施事業	新規開業するに際して必要となるスキルを身につける講座や、既に経営を担う方を対象とした理想的なお店を運営するための具体的なノウハウを学ぶことができる講座など、専門家によるアクセラレータープログラムを実施することで、事業者の起業や事業活動の加速(促進)を支援する。また、必要に応じ金融機関による融資や出資等に明るい外部企業との連携も視野に入れ、プログラムの充実を図っていく。				

事業名	創業の基礎支援 【KPI 2-2】				
事業内容	起業や創業に関する基礎知識を提供するセミナーを実施することで、参加者の起業や創業を促す。				
行動指標 (目標値)	セミナー開催数(回)	R7 3	R8 5	R9 5	R10 5
令和8年度 実施事業	事業計画と資金繰りやマーケティングと販売・営業戦略など、起業や創業に関する基礎知識を提供するセミナーを実施することで、参加者の起業や創業を促す。				

事業名	シェアキッチンの活用【KPI 2-2】				
事業内容	創業までに至らない出店希望者にシェアキッチンの利用を提供し、創業を支援する。				
行動指標 (目標値)	利用件数(件)	R7 10	R8 (30) 60	R9 (50) 70	R10 80
令和8年度 実施事業	創業までに至らない出店希望者にシェアキッチンを利用を1日単位から提供し、実践の場を提供する。また、地域の飲食店と連携し、幅広い人が参加でき、相互に協力できるコミュニティ型のシェアキッチンを運営する。				

事業名	チャレンジショップの活用【KPI 2-2】				
事業内容	創業までに至らない出店希望者や新しいプロダクトの展開のためのテストマーケティング、客層とのマッチアップの実施を希望する事業者に出店スペース(チャレンジショップ)の利用を提供し、創業を支援する。				
行動指標 (目標値)	利用件数(件)	R7 10	R8 (30) 165	R9 (50) 180	R10 (80) 180
令和8年度 実施事業	創業までに至らない出店希望者や新しいプロダクトの展開のためのテストマーケティング、客層とのマッチアップの実施を希望する事業者に出店スペースを1日単位から提供し、実践の場を提供する。また、広場(校庭)で実施するマルシェへの参加を促し、地域との交流を促していく。				

事業名	コワーキングスペースでのビジネスマッチング支援【KPI 2-3】 【KPI 1-3】<再掲>				
事業内容	コワーキングスペースにインキュベーションマネージャーを配置し、利用者のメンタリングを実施するとともに、他事業者とのビジネスマッチング等を促す。				
行動指標 (目標値)	マッチング件数(件)	R7 5	R8 (5) 7 10	R9 (8) 10	R10 10
令和8年度 実施事業	インキュベーションマネージャーが利用者のメンタリングを実施することや、コワーキングスペースを会場とした交流会や商談会を実施することで、事業者のビジネスマッチングを促していく。				

事業名	社会・地域課題の解決に関する取組みの実施【KPI2-4】【新規】				
事業内容	社会課題や地域課題に対してイベント・ワークショップ・ボランティア等、様々な手法を用いて解決に向けた取組みを行う。				
行動指標 (目標値)	取組件数(件)	R7 —	R8 8	R9 10	R10 12
令和8年度 実施事業	アントレプレナーシップの促進や地球温暖化やごみの廃棄に関する環境問題、生きづらさを抱えた方の就労に関する課題など、様々な社会・地域課題に対して解決に向けた取組みを行っていく。				

③産業と連携した学びの支援

若い世代の学びの場として、常設の学びの場及びスクール事業を実施する。また、事業者等のスキルアップや学び直しにつながる取組みを実施する。

事業名	常設の学びの場の提供【KPI 3-1】				
事業内容	子どもの創造性を育むツールを設置し、子どもが自由に利用できる常設の学びの場を提供する。				
行動指標	年間開放日数/日	R7	R8	R9	R10
(目標値)		230	250	(250) 275	(250) 300
令和8年度実施事業	未就学児～小学生を中心に、子どもが自由に利用できるオープンエンドイを設置した常設の学びの場を提供し、親子連れや子どもが気軽に訪れることができる空間を提供する。※登録制				

事業名	アントレプレナー教育のプログラム(探究型スクール事業)【KPI 3-2】				
事業内容	子どもを対象とした創造性・探究心を育むスクール事業を展開し、多様な出会いを通して子どもの起業家精神を養う。				
行動指標	プログラム数/本数	R7	R8	R9	R10
(目標値)		12	(12) 20 30	(18) 25 30	(18) 30
令和8年度実施事業	幼児から小学校低学年を中心にした子どもたち向けの、テーマ探究型のスクール事業として、自然や食など、4テーマを軸に構成。				

事業名	SDGs やソーシャルアクションにつながるプログラム(探究型スクール事業)【KPI 3-3】				
事業内容	子どもを対象とした探究型のスクールを運営。カリキュラムにSDGsの観点を盛り込む。フィールドワークや他テナントとも連携し、子どもたちとソーシャルアクションを考えていく。				
行動指標	プログラム数/本数	R7	R8	R9	R10
(目標値)		12	(12) 20 30	(18) 25 30	(18) 30
令和8年度実施事業	講師(ラーニングパートナー)とともにSDGsの概念を学んだり、テーマに即した現地を実際に訪れ、実際に見たり、触れたりすることで、子どもが新たな発見や気づきを得ることができる機会を創出する。				

事業名	子どもの年間受入【KPI 3-4】				
事業内容	常設の学びの場及びスクールの運営を通して、子どもたちの学びの場づくり、居場所づくりに取り組んでいく				
行動指標 (目標値)	子どもの年間受入人数	R7	R8	R9	R10
	/延べ人数	2,500	(5,000) <u>7,500</u> 9,000	(5,000) <u>8,000</u> 9,000	(5,000) <u>8,000</u> 9,000
令和8年度 実施事業	上記の KPI3-1、3-2、3-3の活動に加え、子ども向けのイベントや隣接小学校との連携等を通じて、子どもたちの受け入れの土壌を固める。利用者(子どもや保護者)の様子やニーズを反映し、常に改善を続ける。夏には通年のスクール事業とは別にサマープログラムを開講予定。				

事業名	区民や事業者のリスキリング支援				
事業内容	テーマごとに連続形式のスクールを開催し、個人や事業者のリスキリングを支援する。				
行動指標 (目標値)	スクール開催数(回)	R7	R8	R9	R10
		30	40	50	50
令和8年度 実施事業	座学に加え、ワークショップやプレゼンテーションを交えた連続講座により、新しい環境に適応するために必要なスキルを習得することを目的としたリスキリングスクールを開催する。				

④区民・事業者が開かれた場

近隣地域と入居者の交流・協業など地域コミュニティの場としての機能に加え、入居者や事業者が開発した新たなテクノロジーなどの社会実証フィールドを提供する。

事業名	誰もが気軽に訪れることのできる空間の創出【KPI 4-1】				
事業内容	屋外広場(校庭)から繋がるブックラウンジやルーフバルコニーを整備・運営することにより、施設への多くの来館を促す。				
行動指標 (目標値)	来館者数(人)	R7	R8	R9	R10
		300,000	500,000	550,000	550,000
令和8年度 実施事業	植栽等を配置した、明るく開けたブックラウンジやルーフバルコニーを整備し、ワークショップ等のイベントも開催することで、誰もが気軽に訪れることのできる空間を創出する。				

事業名	メインエントランス機能の充実、ブックラウンジの整備【KPI 4-1】				
事業内容	施設内にメインエントランスと併設したブックラウンジを開設し、様々な来館者の誘引を促す。				
行動指標 (目標値)	利用者数(人)	R7	R8	R9	R10
		3,000	(4,000) <u>5,000</u> <u>7,000</u>	(5,000) <u>5,500</u> <u>7,000</u>	6,000 <u>7,000</u>
令和8年度 実施事業	施設のメインエントランスとなるブックラウンジには、良質なインプットとなるようなラインナップの書籍を取り揃えとともにコーヒールウンジを設置して、誰もが訪れたいくなるような過ごしやすく、開かれた空間を整備する。				

事業名	クラブハウス等を活用したスポーツ推進【KPI 4-1】				
事業内容	体育館棟内でシャワーを併設したクラブハウスの運営や各種スポーツプログラム、ランニングクラブ等を開催し、スポーツの良さを広げるとともにコミュニティの醸成を図っていく。				
行動指標 (目標値)	利用者数(人)	R7	R8	R9	R10
		1,000	(1,200) <u>3,000</u> <u>5,000</u>	(1,500) <u>3,250</u> <u>5,000</u>	(1,800) <u>3,500</u> <u>5,000</u>
令和8年度 実施事業	体育館棟内でシャワーを併設したクラブハウスの運営や各種スポーツプログラム、ランニングクラブ等を開催し、スポーツの良さを広げるとともにコミュニティの醸成を図っていく。				

事業名	地域連携イベントの開催【KPI 4-2】				
事業内容	施設内広場(校庭)等で世田谷パン祭りのような地域と連携したイベントや近隣の学校と連携したイベントを開催し、地域との一体感を醸成する。				
行動指標 (目標値)	イベント開催回数(回)	R7	R8	R9	R10
		2	(4) <u>10</u>	(6) <u>13</u>	(8) <u>15</u>
令和8年度 実施事業	施設内広場(校庭)等にて、地域や近隣の学校と連携して作り上げる、まちの賑わいを創出するイベントを定期的で開催する。				

事業名	ワークショップの開催【KPI 4-2】				
事業内容	施設内のメインエントランスと併設したブックラウンジを中心に各区画を活用した、誰もが気軽に参加できるワークショップを開催する。				
行動指標	ワークショップ開催数	R7	R8	R9	R10
(目標値)	(回)	3	(5) <u>60</u> <u>70</u>	(10) <u>70</u> <u>75</u>	(15) <u>80</u>
令和8年度実施事業	誰もが参加しやすいテーマのワークショップを実施することで施設の賑わいを演出することで、多様な来館者の誘致を促すとともに、参加者に新たな気付きや発見を提供する。				

事業名	マルシェの開催【KPI 4-2】				
事業内容	広場(校庭)でマルシェを開催することにより、テナント出店やキッチンカー出店などで事業者に出店機会を提供するとともに、施設の賑わいを創出する。				
行動指標	開催数(回)	R7	R8	R9	R10
(目標値)		10	20	25	25
令和8年度実施事業	週末を中心に、月に1回程度、飲食や物販等のマルシェを開催する。なお、開催回数は順次拡大していく。				

事業名	食堂(カフェスペース)の活用【KPI 4-2】				
事業内容	施設内の約250㎡の大型カフェを活用し、入居者同士の交流や地域の交流を促進するイベントやパーティー等の実施により、施設の賑わいを創出する。				
行動指標	団体利用・イベント開催回数(件)	R7	R8	R9	R10
(目標値)		3	(5) <u>80</u> <u>120</u>	(8) <u>90</u> <u>120</u>	(12) <u>100</u> <u>120</u>
令和8年度実施事業	可変性のある家具や什器を用いることで、様々なイベントやパーティー等での活用を可能とし、施設の魅力向上と賑わいの創出を図っていく。				

事業名	スポーツフェスの実施【KPI 4-2】				
事業内容	体育館にて各種スポーツフェスを開催し、施設の賑わいを創出する。				
行動指標	開催回数(回)	R7	R8	R9	R10
(目標値)		1	2	3	3
令和8年度実施事業	体育館において、メジャースポーツからマイナースポーツまで、様々なスポーツを体験できるブースを設け、誰でも気軽に参加できるスポーツフェスを開催し、施設の賑わい創出とともに、新たなスポーツコミュニティの創出を図る。				

事業名	スタジオ活用【KPI 4-2】				
事業内容	体育館棟内スタジオにて各種スポーツやヨガ、演劇等の教室を開催し、スポーツ以外の活動とも積極的に接点を作る。				
行動指標	開催回数(回)	R7	R8	R9	R10
(目標値)	5		(10)	(15)	(20)
			700	750	800
			850	850	850
令和8年度実施事業	体育館棟内スタジオにて各種スポーツやヨガ、演劇、音楽など、様々なジャンルの教室を開催し、新たなコミュニティを創出する。				

事業名	社会実践による企業、NPO、大学等との連携				
事業内容	企業、NPO、大学等と連携し、施設内広場(校庭)等にて社会実験の場を提供し、新たなビジネスの創出を促す。				
行動指標	連携社数(社)	R7	R8	R9	R10
(目標値)	1		2	3	3
			7	7	7
令和8年度実施事業	廃材を再利用した遊具の開発や地域のエリアマネジメント関連業者と連携したモビリティの活用など、ジャンルを問わず様々な可能性を模索する社会実験を行う。				

事業名	飲食・物販テナントの展開				
事業内容	施設内に世田谷のライフスタイルを象徴する飲食・物販テナントを誘致することで多くの来館者を呼び込み、地域に開かれた施設運営を展開する。				
行動指標	テナント数(件)	R7	R8	R9	R10
(目標値)		14	14	14	14
令和8年度実施事業	施設ホームページや SNS での入居テナントの情報発信や施設内での交流を促す取り組みを実施し、入居テナントの経営を支援することで、安定的な来客者を呼び込むだけでなく、施設内のテナント同士や地域との連携を創出し、本施設ならではの取組みを展開する。				

事業名	入居テナント事業者と連携した取り組みやイベントの実施【新規】				
事業内容	入居テナント事業者と連携したイベントの実施することで、賑わいを創出するだけでなく、連携事業者の事業内容を広く周知することで成長を支援する。				
行動指標	連携件数(件)	R7	R8	R9	R10
(目標値)		—	20	30	40
令和8年度実施事業	入居テナント事業者と連携したイベントの実施することで、賑わいを創出するだけでなく、連携事業者の事業内容を広く周知することで成長を支援する。				

事業名	菜園や植栽を活用した取り組み【新規】				
事業内容	屋上や広場を活用して、菜園や植栽管理を通じた人と自然の共創から都市に循環と新たな文化を育てる環境に優しい都市空間を創出し、菜園に集まる人々を繋ぎ地域コミュニティを形成する。				
行動指標 (目標値)	菜園や植栽を活用した 取組件数(件)	R7 —	R8 180	R9 200	R10 220
令和8年度 実施事業	利用者とともに菜園・植栽を整備することやワークショップ等のイベントも開催することで、コミュニティを形成する。また、入居テナントとの連携や隣接する小学校等と連携することで、新たな価値を生み出す取組を実践する。 ※一部登録制				

事業名	脱炭素に資する取組み【新規】				
事業内容	施設を活用して CO ₂ の削減等の環境に配慮した取り組みの普及・啓発等を行い、持続可能な社会の実現に寄与する。				
行動指標 (目標値)	脱炭素に資する取組件 数(件)	R7 —	R8 3	R9 5	R10 7
令和8年度 実施事業	屋上に設置した太陽光パネルによる電力供給や CO ₂ の削減等の環境に配慮した取り組みを浸透させることで、持続可能な社会の実現を目指す。				

7 収支計画

単位:千円

事業別	本体事業	コワーキング スペース	スクール	合計
費目				
入居者賃料（共益費・光熱水費含む）	104,500			104,500
営業売上高（イベント・物販・施設使用料）	30,000	42,581	22,358	94,939
区 地域連携型ハンズオン支援事業委託費	44,324			44,324
区 体育館管理委託費	21,755			21,755
収入 小計	200,579	42,581	22,358	265,518
事務局運営費・各種事業費	30,000	9,000	13,881	52,881
広報・宣伝費	4,000	360		4,360
施設管理費（清掃・植栽管理・保守点検等）	17,000			17,000
備品・消耗品費	3,400	1,800	600	5,800
光熱水・通信等	17,000	3,000	600	20,600
賃借料（共益費含む）	13,200	15,000	3,808	32,008
保険・諸税	7,800	120		7,920
修繕費・追加投資	16,200			16,200
地域連携型ハンズオン支援事業	44,324			44,324
体育館管理費	21,755			21,755
原状回復積立費	2,000			2,000
システム・リース費用等	2,200	1,800	612	4,612
その他経費（雑費含む）	2,150	1,440	450	4,040
減価償却費	18,750	4,200	1,488	24,438
支出 小計	199,779	36,720	21,439	257,938
年度収支	800	5,861	919	7,580

※コワーキングスペースとスクールの運営は本体事業と会計が異なるため、別表記となっている。

※合計の金額については、別会計の合算値のため、参考値である。

8 他事業との連携

世田谷区産業連携プラットフォーム「SETAGAYAPORT」の交流会の開催や事業者間の連携促進、「三茶のミライ」など地域の生活拠点におけるまちづくりと連動した賑わいの創出など、他事業との連携を積極的に進め、地域経済の更なる活性化につなげていく。また、隣接する小学校との連携を継続し、施設見学や菜園での栽培等で交流を図るなど、地域一体となった取り組みを進める。

また、令和7年度に連携した事業者と引き続き連携を継続し、新たな価値の創出及び地域経済の持続的な発展を目指していく。

【連携・共創を予定している事業者等】

(1)地域

①三宿四二〇商店会

- ・毎年世田谷公園で実施される商店街が実行委員を務める日本最大級のパンのイベントである「世田谷パン祭り」。国内はもとより海外からも多数の参加がある当イベント開催への協力を通じて、地域とのつながりを広く全国に発信する。

- ・定期的に実施しているイベントやボランティア活動など、令和7年に引き続き連携を継続する。また、区と連携し、就労支援機関の登録者が参加する機会を設け、障害者や生きづらさを抱えた方が社会と接点を持つことができる取組みを実施する。

②三宿・池尻・大橋・東山および周辺地区エリアマネジメント協議会／池尻大橋駅を中心に半径 1.0km を対象エリアとして、住宅地を中心とした環境に配慮した「静かな住環境」と「にぎわい」との共存や、エリア外からの人流創出による対象エリアの価値向上と活性化などに取り組む事業と連携することにより、近隣繁華街とは異なるこの土地ならではの魅力づくりに取り組む。

令和7年度は施設の広場を活用して、子どもの向けの「遊び場創出事業」を実施した。

令和8年度は社会実験的な側面を含んだ取組みを実施する予定である。

③世田谷区商店街連合会と連携し、広く区内商店会の参加者を募り、商店街活性化を目的としたセミナー等の取組みを行う。

④金融機関、区内企業／区内には、非常に大きな規模と視野を持ち、多角的な実績を上げている事業者もいるため、ピッチイベントへの参画等の連携可能性を検討していく。また、事業者の成長や新たなチャレンジには、融資や出資等を含む資金調達機会の提供も必要な要素であるため、区と区内の信用金庫や政策金融公庫等とのつながりを活かした支援の枠組みを検討するとともに、運営事業者が持つ企業ネットワーク等も活用し、区内事業者の成長を促進する取組みの充実を図っていく。

(2)世田谷区事業

①SETAGAYAPORT／施設の強みであるソーシャルビジネス支援機能と、せたがや産業創造プラットフォーム「SETAGAYAPORT」の連携により、更なる地域課題解決と、プラットフォームメンバー並びに施設利用者のビジネスチャンス獲得に繋げる。

②事業承継プラットフォーム「relay the local 世田谷区」／区の課題である区内事業者の高齢化等による廃業を抑止するため、第三者承継の譲り手・継ぎ手を区の事業者マッチングプラットフォームに誘導する取組みを行う。

(3)学校

- ①区立小学校／隣接小学校である区立池尻小学校との連携事業を継続する。引き続き、当施設を活用した各学年における総合的な学習の時間でのキャリア教育や入居事業者との連携したアントレプレナーシップの醸成につながる取組みの実施などを予定。
- ②各種専門学校／各種専門学校と連携し、当施設内飲食店やシェアキッチンを活用した生徒との協力事業を検討していく。
- ③特別支援学校／特別支援学校と連携し、当施設を活用した生徒の社会体験や就労体験等の事業を検討していく。

(4)他自治体

令和7年度に引き続き、視察等を通じて他自治体と情報交換を行い、区内産業の活性化につながる他自治体の取組みや他自治体が運営するインキュベーション施設について情報収集することで、当施設の提供するプログラム等に活かしていく。